

診療でペットフードのより良い活用を目指す。

PracticeHPM

vol.2

なかほ犬と猫の病院

【 福井県大野市 】

スタッフ構成

獣医師1名、看護師2名、トリマー 2名

言葉がしゃべれない動物の
わずかなサインを見逃さないように
心がけています



【 目指す病院像 】

飼い主様から 信頼していただける 病院を目指す



院長 酒井 康一郎 先生

飼い主様だけでなく

スタッフとのコミュニケーションも重視

当院は2012年に開業しました。開業当初から、飼い主様から信頼していただける病院を目指しています。

信頼していただく為に、飼い主様への説明は丁寧に行い、納得していただくことを心がけています。話が一方通行になっていないか、専門用語を飼い主様が理解されているか、もっと説明を聞きたそうか、などを確認しながら行います。納得していただければ飼い主様と二人三脚の治療が行えるからです。

看護師をはじめとするスタッフとはコミュニケーションをしっかりとるようにしています。診察室で私には聞きづらかったのか、会計時に「さっきの先生の話だけど…」「聞くのを忘れてしまったのだけど…」と看護師やスタッフに尋ねる飼い主様がいらっしゃいます。看護師が聞いた情報が重要なこともありますので、日々のコミュニケーションを大切に、情報を共有しやすい関係を築くようにしています。

スタッフには目的意識をもって楽しく働いてもらいたいと考えています。私やスタッフが仲良く協力して働いていれば、飼い主様に「また来たい」と思っているだけの明るい和やかな雰囲気になると考えています。

待合室も飼い主様やペットがリラックスできるように、圧迫感のない開放的な空間にしています。また、病院に入りやすい入口にして、敷居を下げることで、気軽に相談してもらえる動物病院になりたいと思っています。

NAKAHO DOGS&CATS HOSPITAL

なかほ犬と猫の病院

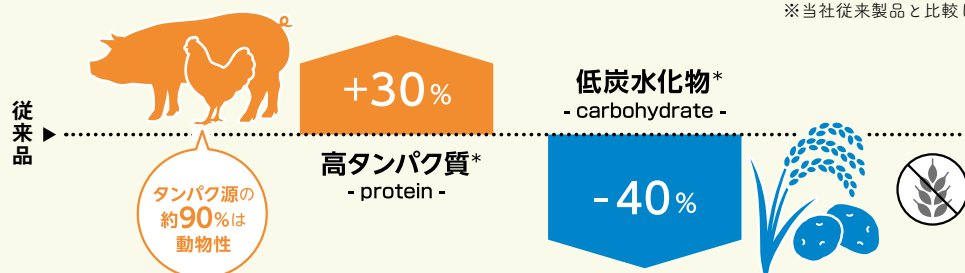
HPM™導入のきっかけは「高タンパク質・低炭水化物」というコンセプト

01

HPM™を導入したきっかけは、製品のコンセプトである「高タンパク質・低炭水化物」に魅力を感じたためです。私自身が糖質制限に興味をもち、実際に自分で糖質制限による健康管理に取り組みました。その結果、体調が良くなる、疲れにくくなる、集中力が上がるなどの効果を実感でき、減量することもできました。人で糖質の摂りすぎが良くないのであれば、本来は肉食動物である犬や猫には、なおさら高タンパク質・低炭水化物のペットフードが必要です。そこで、どうにかして犬や猫の食事管理でも高タンパク質・低炭水化物の考え方を取り入れたいと考えていましたが、これまでのペットフードにはそのようなものはありませんでした。また、他のメーカーにペットフードの炭水化物含有量を減らすことはできないかと相談したこともありましたが、難しいと言われました。低炭水化物のペットフードを手作りしようとしても、容易ではありません。そのような時、高タンパク質・低炭水化物という栄養組成のHPM™があることを知りました。HPM™はまさに私が求めていたペットフードのコンセプトと合致しましたので、早速導入しました。

VETERINARY HPM™と当社従来製品のタンパク質・炭水化物の比較

※当社従来製品と比較して



動画を置いて犬と猫における高タンパク質・低炭水化物の必要性を説明

02

飼い主様のHPM™の特長理解を深める

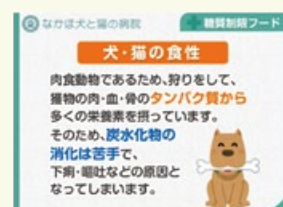
ペットフードで高タンパク質・低炭水化物が重要であることを飼い主様に説明する際には、主に病院のホームページにも掲載している動画を使っています。HPM™の導入をきっかけに、人間の糖質制限に関する科学的な理論をベースにして制作をしました。この動画を通じて、飼い主様には犬や猫が本来は肉食であることを理解していただきたいと考えています。待合室でも動画を流していますので、飼い主様から質問をいただいたり、HPM™を購入したいとお話いただくこともあります。動画によって、飼い主様のHPM™の導入に対するハードルは低くなったように感じています。

HPM™に関する説明は、主に私が担当しています。ビルバックサービスへの登録推奨は看護師が担当しています。看護師は、ビルバックのセミナーにも参加してもらい、勉強もしていますので、なぜ当院でHPM™を推奨しているのかを理解しています。そして、HPM™の各種ペットフードの特徴も共有できていますので、看護師も飼い主様には一通りの説明ができるようになっています。



動画は
ホームページにも
掲載しています

<http://www.nakaho-dch.jp/>



総合栄養食を勧めるタイミングは、 ワクチン接種時、避妊・去勢手術後

03

HPM™を勧める際には、 与える目的や継続して与えることで 期待できることを説明

飼い主様に総合栄養食のペットフードを勧めるタイミングで多いのは、ワクチン接種時や避妊・去勢手術後です。特に避妊・去勢後は、ホルモンバランスの変化もあり太りやすくなるため、体重管理の必要性を説明しています。飼い主様からも、避妊・去勢後には体重管理について積極的に質問をいただく機会が多くなっています。一方で、避妊・去勢後に何年も経過している犬や猫の場合、体重がかなり増加していることがあります。体重の増加を飼い主様に指摘しても、理解いただけないことがあります。飼い主様が「太っている」と認識される状態は、私たち獣医師の立場からすると、認識されている以上に太っているケースが多いためです。そのため、飼い主様のペットの肥満に対する認識をさらに高めていくことが今まで以上に必要だと考えています。



太っている犬や猫の飼い主様にHPM™を勧める際には、体重を減らすことよりも、筋肉が保持された良い状態を維持しましょうとお話をしています。併せて、肥満にならないようにすることで、将来的に起こり得る病気を予防したり、普段の健康維持にもつながることをお話ししています。

また、被毛が薄かったり毛並みが悪いペットであれば毛量の増加や毛並みの改善、高齢で痩せ気味だったり関節機能が低下して筋肉量が少ないペットであれば筋肉量の増加など、HPM™を与える目的や、HPM™を継続して与えることで期待できることをあらかじめ飼い主様に説明しています。そうすることで、飼い主様も意識してペットの状態を観察されますので、変化があった場合には、飼い主様から私たちにお話しいただけることもあります。

高タンパク質※ 低炭水化物※による
健康的な10の利点

※当社従来製品と比較して



8種の
タンパク源
不使用

低糖
バランス※

デンタル
ケア

スキンコート
ケア

免疫
サポート

体重
サポート

関節筋肉
サポート

腎機能
サポート

消化機能
アシスト

尿量
サポート



Doctor's Voice

HPM™ 食事療法食の推奨

04

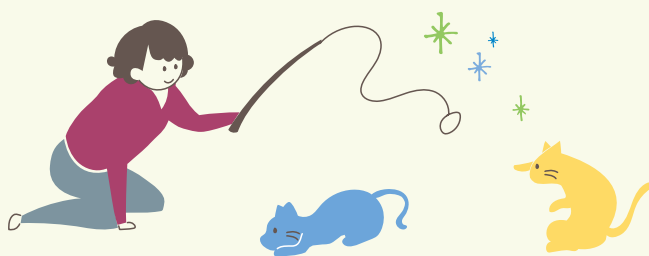
ターゲットの病気管理だけでなく、 全身の健康維持に貢献

飼い主様に療法食を勧める際は、HPM™と他のメーカーの2種類のサンプルをお試しいただいています。それぞれのペットで嗜好性の違いがありますので、どちらかを食べてくれないことを想定しているためです。できれば、飼い主様には、高タンパク・低炭水化物であるHPM™を選択していただきたいと考えています。そのため、お渡しした2種類のサンプルの両方をペットが食べた場合には、優先的にHPM™を推奨しています。

HPM™については、ターゲットとなる病気のみに対する単なる療法食という位置づけよりも、ターゲットとなる病気を含めた、全身の健康状態を維持できるペットフードであると説明をしています。

当院で扱っている療法食については、価格の一覧表を用意しており、各メーカー間でそれほど差がないことを説明しています。療法食の価格が総合栄養食よりも高い点については、「価格は高いけれども、病気を治すペットフードなので食べ続ける必要がある」と飼い主様に説明をすると、多くの場合は納得して受け入れていただいています。

また、減量時や、ストルバイト尿石の溶解時など、比較的短期間の給与に限られる療法食については、飼い主様には与える期間を決めて使うことを提案しています。



飼い主様もHPM™製品が
目に入りやすいよう院内でも展示



HPM™を与えた犬・猫の実例より

腎臓病の猫における食欲改善と、
脱毛のみられた犬での
被毛回復と毛質改善

05

HPM™を与えた犬・猫の実例のケースをいくつかご紹介したいと思います。
腎臓病の猫の場合、ペットフードを何種類も変えても食べてもらえなかったり、
わずかしかな食べないなど、苦慮することが多くなっていますが、2020年8月に新たに
発売されたHPM™猫用腎臓&リン制限は、飼い主様の評判が良いことを実感して
います。HPM™猫用腎臓&リン制限に変えたところ、今までよりもよく食べるよう
になったと飼い主様からお話をいただいています。また、紹介したその日のうちに、
再び来院されて購入された飼い主様もいらっしゃいました。腎臓病が進行していて
体格が痩せ衰えているような猫に対し、必要なタンパク質が補給できて筋肉量を
衰えさせないという点が非常に良いと思っています。

犬のケースでは、痩せていた犬にHPM™を与えたところ、飼い主様が「太った
のでは？」と聞いてくるほど、筋肉量が増えてがっちりとした体型になったという
ことを経験しています。その他には、股関節形成不全のため、股関節に負担をかけ
ないようにダイエットをして、過度に痩せてしまった犬がいました。この犬にも
HPM™を食べてもらったところ、健康的な体型に戻ることができました。こういった
ケースを見ると、例えば骨頭切除症例での術後の後肢の筋量サポートの目的等でも
HPM™を用いることができると思います。

また、他院から転院してきたポメラニアン犬のケースでは、頸部周囲の毛が
広範囲に生えていませんでした。これまでもサプリメントを与えるなど、皮膚疾患
の治療をしていたようですが、改善が見られなかったそうです。そこで当院で皮膚
の治療と併せて食事をHPM™犬用シニアニュータードに変えたところ、頸部周囲の
毛が生えてきただけでなく、全体の毛質や毛づやも明らかに改善しました。この犬
のように、HPM™を与えることによる毛質や毛づやの改善は、見た目でも最もよく
分かる変化だと感じています。

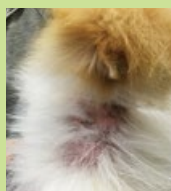
HPM™を与えた犬の実例

ラトリィ君 ポメラニアン 去勢済オス・12歳

2019年頃から頸背部の脱毛が拡大。
抗酸化サプリメントで皮膚の治療をするも改善せず、なかほ犬と猫の病院へ転院。
2020年5月から、フードをHPM™犬用シニアニュータードへ変更。



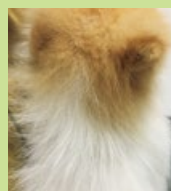
フードをHPM™へ
変更した後の経過



2020年5月



2020年7月



2020年12月



現在サプリメント投与や
投薬は行っていない。

飼い主様の声

2019年に症状が出て、シャンプー、サプリメントでも改善する様子がなく、どうしようかと悩んで
いました。知人から、フードを変えて毛が良くなってきた子のお話を聞き、病院を移り、HPMを開始
してみました。段々と毛の一本一本がしっかりしてきている様子があり、今では見違えるようにな
りました。毛のツヤもあり、以前より若くなったような気がします。



HPM™のメリットとしての オンライン購入システム

06

HPM™のその他のメリットとして、オンラインで購入できるシステムが挙げられます。やはり、販売元のメーカーのサイトを通じて購入できるという安心感があります。また、当院には高齢の飼い主様も多く、病院まで買いに来るのが大変な方もいらっしゃいます。最近は高齢の飼い主様でもスマートフォンを使いこなしている方もいらっしゃいますので、オンラインでの購入へのハードルはそれほど高くないようです。また、地域柄、生活圏が広く、自動車で遠くから来院される飼い主様もいらっしゃいますし、冬になると雪も積もります。そのため、オンラインで、飼い主様が継続的に購入できることは良いことだと思っています。特に療法食については、ドロップアウトせずにいかに継続していただけるかが大きな課題です。一度症状が安定してくると「もう治った」と飼い主様が判断して、病院も知らない間に、療法食の給与をやめてしまっていたということがあります。

また、飼い主様は選択肢が多すぎても、選ぶことが難しくなってしまいます。そのため、HPM™のようにメリットのあるペットフードをある程度こちら側で絞り込んで選択肢を提示し、継続していただくことの重要性を伝えることも必要だと思います。

HPM™はビルバックサービスという、飼い主様がかかりつけ病院を登録することができるオンライン通販サイトで購入できます。病院側では飼い主様の購入履歴を把握できるため、食事管理が継続して行われているかを管理できます。また、メールで案内を飼い主様に送ってもらえる点もメリットだと考えています。

VETERINARY HPM™はビルバック®サービス専用販売製品です。



ビルバックサービス



ビルバック®サービスは、獣医師が推奨する製品を
オンラインで購入できる通販サービスです。
かかりつけ病院のご登録で、VETERINARY HPM™フードの他、
デンタルケア製品、猫用フェロモン製品（フェリウェイ）等
お得にご購入いただけます。



VETERINARY HPM™製品一覧

VETERINARY HPM™は
ビルバック®サービス専用販売製品です。

VETERINARY HPM™食事療法食

※ご購入には獣医師の指導が必要です。

 犬用 1kg	 W WEIGHT 体重& 糖質制限	 G GASTRO 消化器& 栄養補給	 D DERMATO 皮膚被毛	 A ALLERGY 加水分解サーモン 終売	 K KIDNEY 腎臓& リン制限	 U UROLOGY ストルバイト& シュウ酸塩結石
 猫用 1kg	 W WEIGHT 体重& 糖質制限	 K KIDNEY 腎臓& リン制限	 U1 UROLOGY1 ストルバイト& シュウ酸塩結石 U1	 U2 UROLOGY2 ストルバイト& シュウ酸塩結石 U2 pHメンテナンス		

VETERINARY HPM™総合栄養食

 犬用 2kg	未避妊・ 未去勢の犬	 アダルト (10ヵ月齢以上)	 シニア (10歳以上)	避妊去勢後 の犬 体重が増加 しがちな犬	 アダルト ニュータード (10ヵ月齢以上)	 シニア ニュータード (10歳以上)
 猫用 2kg	1歳以上の すべての猫	 サーモンティスト (1歳以上)	避妊去勢後 の猫 体重が増加 しがちな猫	 アダルト ニュータード (1歳以上)	 シニア ニュータード (10歳以上)	



ビルバックサービス
<https://virbac-services.jp/>



ビルバック®サービスは、
獣医師が推奨する製品を
オンラインで購入できる
通販サービスです。



ビルバックコンタクトセンター
 受付時間9:00 - 17:00 / 年末年始、日曜・祝日除く

TEL 0120-550-700